

平成 30 年 6 月 18 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02931

研究課題名(和文) 中世シチリアにおけるノルマン王支配下の農民の研究

研究課題名(英文) Study of the villeins under the rule of the Norman kings in Medieval Sicily

研究代表者

高山 博 (Takayama, Hiroshi)

東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・教授

研究者番号：90226936

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、以前アクセスできなかったアラビア語、ギリシア語、ラテン語羊皮紙手書文書を詳細に検討し、アラビア語の「ムルス」と「フルシュ」という二つの言葉から二つの固定した不自由農民層を導きだすことはできないという私自身の仮説が間違っていないこと、実際には領主との関係で自由度が変わる不自由農民層が存在したにすぎないことを明らかにした。この研究成果は、二つの不自由農民の階層という均一な法的身分の存在を否定し、農民の状態はその領主との関係に応じて大きく異なっていたことを示唆している。この研究成果は、2017年12月、論文として英文オンラインジャーナルSpicilegiumに掲載された。

研究成果の概要(英文)：In this project, I examined in detail the Arabic, Greek, and Latin parchments which I had not got access to before, and confirmed that my hypothesis proposed in the previous project - the Arabic words mulas and hursh were not a pair of opposite terms indicating two different classes of villeins as scholars had thought - is right. It is difficult to assume the existence of two classes of villeins with legal status applied uniformly in Norman Sicily. Actual conditions of villeins seem to have varied according to the relationship with their landlords. I published the result of my research as an article in an English on-line journal Spicilegium in December 2017.

研究分野：西洋中世史

キーワード：農民 ノルマン シチリア 中世 アラビア語 ギリシア語 ラテン語 羊皮紙

1. 研究開始当初の背景

ノルマン・シチリア王国の農民に関する研究は、20世紀初頭以来の長い蓄積を有しているが、研究者の議論の中心はこの王国における2つの異なるウィラーヌス (*villanus* 不自由農民)層の存在にあった。アラビア語、ギリシャ語、ラテン語史料に記されている農民を指す言葉が、2つのウィラーヌス層のどちらに属するのかが大きな研究テーマだった。例えば、20世紀初頭の歴史家 F. Chalandon (*Histoire de la domination*, 1907, II, pp.529-30) は、この王国のウィラーヌスを次の2つに分類している。上位にあるのが、土地保有により領主に奉仕義務を負ったウィラーヌス層、つまり、ラテン語で *homines censiles*、アラビア語で *maks*、*mahallāt*、ギリシャ語で ἐξώγραφοι、ἄνθρωποι と表現される農民であり、下位にあるのが、領主に対して人格的に奉仕義務を負ったウィラーヌス層、つまり、ラテン語で *servi*、*adscriptitii*、アラビア語で *rijāl al-jarā'id*、ギリシャ語で πάροικοι、ἐναπόγραφοι と表現される農民である。

アラビア語、ギリシャ語、ラテン語の3つの言語の史料において、農民を指す言葉それぞれが2つのウィラーヌス層のどちらに属するのかわかるという問題については、今日に至るまで研究者間の見解の一致をみていない。しかし、王国のウィラーヌスが2つの層に分かれていたという基本認識は、その後の歴史家の多くによって受け継がれてきている (例えば、A. Garufi, "Censimento," *ASS*, n.s. 49 (1928), pp.74-5; I. Peri, *Il villanaggio*, 1965; Idem, *Villani e cavalieri*, 1993; G. Petralia, "La «signoria»," G. Rossetti, ed., *La signoria rurale*, 2006, pp.233-70)。

2000年以降は、アラビア語史料に出てくる農民を指す言葉を詳細に検討した研究成果が書物や論文として次々と刊行されているが、それらの研究でも2つのウィラーヌス層という枠組みは維持され続けている (A. Nef, "Conquêtes et reconquêtes," *MEFR* 112/2 (2000);

Idem, *Conquérir et gouverner la Sicile islamique* (2011); J. Johns, *Arabic Administration*, 2002; A. de Simone, "Ancora sui «villani»," *MEFR* 116 (2004); A. Metcalfe, *Muslims and Christians*, 2003, p.37; Idem, *Muslims of Medieval Italy*, 2009, pp.268-72)。例えば、Johns は、ノルマン支配期シチリアに関するアラビア語史料を網羅的に精査し、アラビア語史料のなかに出てくるイスラム教徒農民を指す言葉を詳細に分析し整理・分類を行ったが、*hursh* と *mul* を2つのウィラーヌス層を指す重要な対概念と主張している。このJohnsの見解は、Metcalfe、Nefにより、受け入れられた。

しかし、この2つのウィラーヌス層という枠組みは、確かな史料的根拠に基づいて提示されたものではなく、歴代の研究者によってほとんど無批判に継承されてきたものである。そのため、この枠組みに基づく王国の農民理解については研究者の間に多くの論争点が存在し、現実の状況との矛盾点も少なくない。

私は、平成24～26年度基盤研究(C)「ノルマン・シチリア王国農民の研究～アラビア語、ギリシャ語、ラテン語史料の検討から」の助成を得て、手書き羊皮紙文書を詳細に検討し、アラビア語の「ムルス」は文書の名簿に追加された者たちを示す言葉であり、Johns や Metcalfe が主張するような、ウィラーヌスの二つの階層の一方を表す言葉ではない可能性が高いことを明らかにした (この成果は、アメリカ中世学会年次大会(UCLA, 10 April 2014)で"Classification of Villeins in Norman Sicily"として報告し、「中世シチリアにおける農民の階層区分」として『西洋中世研究』6号(2014年12月)に掲載された。本研究はその研究成果をさらに発展させるものであり、当時見ることのできなかつた古文書館所蔵羊皮紙文書を検討して、二つの固定した不自由農民層に分けるのは誤りであり、領主との関係で自由度が変わる一つの不自由農民層が存在

したにすぎないことを明らかにしようとするものである。

2. 研究の目的

本研究の目的は、これまで見ることでできなかった未刊行史料、特に、イタリアとスペインの古文書館に所蔵されているアラビア語、ギリシャ語、ラテン語の三言語の羊皮紙手書き文書を検討し、私自身が提示した仮説、つまり、①アラビア語の「ムルス」は文書の名簿に追加された者たちを示す言葉であり、Johns や Metcalfe が主張するような、ウィラーヌスの二つの階層の一方を表す言葉ではないこと、②ウィラーヌスを二つの固定した不自由農民層に分けるのは誤りであり、領主との関係で自由度が変わる一つの不自由農民層が存在したにすぎないことを確認することである。

3. 研究の方法

当研究は、個人研究であり、私一人で史料・文献の蒐集と検討、論文の執筆を行う。作業の中心は、主としてイタリアとスペインの古文書館に保管されているアラビア語、ギリシャ語、ラテン語羊皮紙手書き文書の写真を手に入れ（もしくは、古文書館で実見し）、それらの内容を解読し、必要な情報を整理することである。

1. Agrigento, Archivio Diocesano, *Pergamene*, no. 21

2. Catania, Archivio Diocesano (Archivio Capitolare della Cattedrale), *Pergamene greco-arabe e greche*, nos. 1-7.

3. Palermo, Archivio Diocesano, *Fondo Primo*, nos. 5, 9, 11, 14, 16, 20, 24, 25, 27, 29.

4. Palermo, Archivio di Stato, ff.627v-8v. *Magione*, nos. 2, 3, 5, 6, 78, 110, 152, 224 (アラビア語文書のラテン語訳) *MS Corporazioni Religiose sopprese, Fondo Monastero del*

Cancelliere, vol. 367, ff. 158r.-60r. (31-35) (アラビア語文書のラテン語訳). *San Martino delle Scale*, no. 191. *Tabulario della Chiesa di Cefalù, Pergamene*, nos. 1-2, 4-6, 12-13, 18, 22, 23, 25, 29, 35, 37, 38. 3, 60 (ギリシャ語・アラビア語文書のラテン語訳). *Tabulario del Monastero di Santa Maria della Grotta, Pergamene*, nos. 1-9, 13. *Tabulario di Abbazia di S. Filippo di Fragalà e di S. Maria di Maniaci, Pergamene*, nos. 1-22. *Tabulario di Santa Margherita di Polizzi*, no. 1. *Tabulario di Santa Maria Maddalena di Valle Giosafat, Pergamene*, nos. 2-3, 14, 21, 34, 46, 51-53, 58, 64. *Pergamene varie*, no. 65.

5. Palermo, Biblioteca Centrale della Regione Siciliana, *Tabulario di S. Maria Nuova di Monreale, Pergamene*, nos. 4-5, 22, 32, 45-46.

6. Palermo, Cappella Palatina, *Tabulario della Real Cappella Palatina, pergamene*, nos. 4, 8, 13-15, 16, 19, 171.

7. Paris, Bibliothèque Nationale de France, MS. Gr. suppl. no. 1315.1

8. Patti, Archivio Diocesano (Archivio Capitolare), *Pergamene restaurate greche*, fol. 5-6, 9, 20, 22-23, 25, 27, 28.

9. Toledo, Archivio Ducal de Medinaceli, *Fondo Mesina*, nos. 1104 (S 796) recto, 1117 (S 2003) recto+verso, 1118 (S 2004), 1119 (S 2001), 1120 (S 2002) recto+verso.

なお、2016年9月には、それまで経済的理由から利用することのできなかったスペインのトレドにある古文書館 Archivio Ducal de Medinaceli を訪ね、同館所蔵のオリジナル羊皮紙文書の実物を検討し、必要な文書の写真撮影を依頼した。指定した羊皮紙文書の写真撮影は、後日、文書館員

によってなされ、その写真を入手することができた。

4. 研究成果

本研究は、平成 24～26 年度基盤研究(C)「ノルマン・シチリア王国農民の研究～アラビア語、ギリシャ語、ラテン語史料の検討から」においては確認することのできなかった多言語羊皮紙文書（とりわけ、スペインのトレドの古文書館所蔵のアラビア語、ギリシア語、ラテン語羊皮紙文書）を詳細に検討し、アラビア語の「ムルス」と「フルシュ」という二つの言葉から二つの固定した不自由農民層を導き出すことはできないという私自身の仮説が間違っていないことを確認し、実際には領主との関係で自由度が変わる不自由農民層が存在したにすぎないことを明らかにすることができた。

二つの不自由農民の階層という理解に象徴される、強力な王権のもとでの均一な法的身分の存在や、アラビストたちが想定する大規模な住民調査の存在とは逆の現実、つまり、農民の状態はその領主との関係に応じて大きく異なっていたことが示唆される。

この研究成果は、2017 年 12 月、英語論文 "Classification of Villeins in Medieval Sicily" として英文オンラインジャーナル *Spicilegium* に掲載された。また、この論文を含む私の英語論文集 *Sicily and the Mediterranean in the Middle Ages* が、2019 年にイギリスの学術出版社 Routledge から刊行される予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

Hiroshi Takayama, "Classification of Villeins in Medieval Sicily," *Spicilegium*, vol. 1 (2017), pp. 3-16.

〔学会発表〕(計 1 件)

〔図書〕(計 1 件)

Hiroshi Takayama, *Sicily and the Mediterranean in the Middle Ages* (Abingdon, Routledge, 2019 年刊行予定).

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 1 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 1 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高山 博 (Takayama, Hiroshi)
東京大学・大学院人文社会系研究科 (文学部)・教授

研究者番号：90226936

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()